

2017年11月30日

鹿屋医療センター産婦人科で

帝王切開術の術前検査を受けた患者さんへ

(医学系研究に関する情報)

鹿屋医療センターでは、以下の臨床研究を実施しております。

この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】 Dダイマーの妊娠・産褥期の変化と深部静脈血栓症の
予測因子、分娩時出血の予測因子としての有用性の検討

【研究機関】 県民健康プラザ鹿屋医療センター

【研究責任者】 産婦人科 部長 折田 有史（おりた ゆうじ）

【研究の目的】 深部静脈血栓症（DVT）は妊産婦・褥婦に発症しやすく、肺塞栓症へ進展すると命に係わります。一般的にDVTを発症するとDダイマーが上昇することはよく知られていますが、妊婦ではDダイマーは血栓の有無にかかわらず上昇しており、分娩を契機にどのように数値が変化するのも明らかとなっていません。このため、Dダイマー・臨床症状のみでは血栓の有無の評価が困難なため、分娩前後の変化を検討することで、肺塞栓症の予防につなぐ研究をする事が目的です。また、Dダイマーが分娩時出血量の予測因子となる可能性についても検討する。

【研究の方法】 当院で帝王切開の術前検査を受けた方を対象に、Dダイマーを含めた血液検査の結果や、分娩時の出血量、その他のリスク因子を診療録から収集し、解析します。個人情報をも特定する内容は含まれません。

【対象となる方】

2013年5月1日から2017年11月30日までに、鹿屋医療センターで帝王切開の術前検査を受けた患者さんを対象にしています。

【診療録（カルテ）から利用する情報】

年齢、血圧、BMI、喫煙の有無、妊娠週数、胎児の数、切迫早産などでの長期臥床の有無、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板数、PT、APTT、Dダイマー、総コレステロール、総蛋白、分娩時の出血量など、その他のリスク因子を診療録から情報を収集します。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒893-0013

鹿屋市札元 1 丁目 8-8

県民健康プラザ鹿屋医療センター 産婦人科

部長 折田 有史

電話 0994-42-5101